

優秀賞

わたしのはっけん！

三重県 東員町立笹尾西小学校二年 石井 文乃

朝おきて、朝ごはんを食べます。はをみがいて、きがえます。学校へ行って友だちとあそんだり、ベんきょうをしたりします。学校がおわると、学どうクラブやならいごとへ行きます。そうしてたのしい一日がおわります。これがわたしの「あたり前」でした。

手足口びょうにかかり、「あたり前」がこわされました。口の中がいたくてごはんが食べられなくなってとてもくるしかったです。ねつが出たので二日かん学校を休みました。友だちにも会えなくてさみしかったです。学どうクラブにもならいごとにも行けませんでした。ミミズがひからびそうになってもがいているような気もちになって、体も心もくるしかったです。「早くなおしたいな」「みんなと早く会いたいな」と、ずっと思っていました。

手足口びょうになって三日目、すこしだけごはん

が食べられるようになりました。体のぶつぶつはまであったけど、ねつが下がったので、学校にも行くことができました。学校でべんきょうしたり、友だちとあそんだりできて、すごくたのしくてうれしかったです。わたしの「あたり前」の一日がやっともどってきました。「とても、とても、しあわせな一日をすごしていたんだな」と、あたり前にすごせるしあわせに気がつきました。

びょう気になってとつぜん、わたしの「あたり前」がこわされたように、また何かがおこらないかすこしふあんです。だからわたしは「しあわせのもと」をつくることをがんばっています。ごはんをしっかり食べてじょうぶな体をつくりたいです。たくさんあそんだりべんきょうしたりして、心やあたまをよくします。ぐっすりねむって、つかれをいやします。つづけていくと「しあわせのもと」がたまって、あ

たり前のまい日をすごすことができると思います。

そんな時に『へいわってどんなこと？』という本を読みました。わたしのあたり前のしあわせが、へいわだということを知りました。おかあさんから、あたり前のしあわせを知らない子どもがいることや、しあわせのものをためられない子どもがいることを教えてもらいました。わたしは、もっとべんきょうをして、しあわせのものをつくるためにできることをもっと知りたいです。じぶんだけじゃなくて、だれもきずつかないせかいにしたいです。みんながあたり前のしあわせなまい日をすごせたら、すてきなと思います。そのねがいがほんとうにかなったらうれしいです。

手足口びょうになった時は、くるしくてたいへんだったけど、今まで気がつかなかったことをはっけんできてよかったです。手足口びょうに、ちょっとだけかんしゃしたいです。

